

# 節電行動計画

事業者名	日本女子大学 寮舎地区	責任者名	高石 淳子
------	----------------	------	-------

節電目標	昨年夏ピーク比で△15%	節電実績	
------	--------------	------	--

3つの基本アクションをお願いします		建物全体に対する節電効果	実行チェック
照明	・居室以外のエリアの照明を間引きする。	10%	✓
空調	・使用していないエリア（会議室、宴会場等）は空調を停止する。	2%	✓
	・ロビー、廊下、事務室等の室内温度を28℃とする（または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる）。	2% (+2℃の場合)	✓

さらに節電効果が大きい以下のアクションも検討してください			
空調	・風間の寮室の空調設定を28℃の徹底を行う。もしくは空調を停止する。	1%	✓

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします			
照明	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)		-
	・宴会場の準備、片付けの際には一般照明のみ点灯し、演出照明（シャンデリア等）は消灯する。		-
	・寮生への協力要請を通じて、各室の照明を抑制する（使用していない照明の消灯等）。		✓
空調	・厨房排気を確認し適正な風量に調節する（過大な場合は外気を誘引してしまうため）。		✓
	・車の動きが少ない時間帯の駐車場給排気ファンの間欠運転をする。		-
	・電気以外の方式（ガス方式等）の空調熱源を保有している場合はそちらを優先運転する。		✓
	・日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。		✓
コンセント動力	・寮生への協力要請を通じて、客室の空調を抑制する（温度設定を上げる等）。		✓
	・エレベーターは10時～17時(空室時)に運転台数を削減する。		-
	・客室冷蔵庫のスイッチは「切」で待機する。		-
	・給湯循環ポンプの10時～17時(空室時)の流量削減または停止する（中央給湯方式）。		-
その他	・電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。		✓
	・自動販売機の管理者の協力の下、冷却停止時間の延長等を行う。		✓
	・デマンド監視装置を導入し、設定を契約電力の△15%とし、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。		-
	・コージェネレーション設備を設置している場合は、発電優先で運転する。		-

従業員や宿泊客への節電の啓発も大事です			
節電啓発	・施設全体の節電目標と具体策について、全体に周知徹底し実施する。		✓
	・節電担当者を任命し、責任者と関係全部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを定期的実施する。		✓
	・館内での貼り紙などを通じて節電を呼びかける。		✓
	・寮生に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。		✓

- ※ご注意
- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
  - ・空調については電気式空調を想定しています。
  - ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
  - ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
  - ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意ください。